

大館市教育委員会会議録

日 時 令和8年2月20日（金）

午後3時30分

場 所 長木公民館

第1・第2研修室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及び場所	日 時 場 所	令和8年2月20日(金) 長木公民館	午後3時30分 第1・第2研修室
2	出席委員の氏名			
	教育長職務代理人	山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子
	委 員	小笠原 正 卓		
3	欠席委員の氏名			
	委 員	真 田 かずみ		
4	委員以外の 出席者職氏名	(なし)		
5	出席した職員の職氏名			
	教 育 長	長 岐 公 二	学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤
	教 育 次 長	若 松 健 寿	生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則
	教 育 監	野 呂 謙 一	中央公民館長	外 館 志
	教育総務課長	北 林 香 子	歴史文化課長補佐	鳥 潟 幸 男
	学校教育課長	鈴 木 明	教育総務課総務係長	三 浦 伸 介
	教育研究所長	米 澤 貴 子		
	生涯学習課長	畠 山 慶 子		
	歴史文化課長	関 智 仁		
	教育総務課長補佐	宮 崎 史 人		
6	会議録署名委員	教育長・工藤委員		
7	会議書記	教育総務課 総務係長 三浦 伸介		
8	教育長報告			
	(1)	未来おおだてサミット事業について(交流推進課事業)		
	(2)	令和7年度秋田県学習状況調査の結果について		
	(3)	大館市教育委員会の表彰について		
	(4)	子どもサミット釜石交流事業について		
9	議 事			
	協議第3号	令和7年度大館市一般会計補正予算(第11号)の専決処分について		
	協議第4号	大館市民文化会館に関する条例の一部を改正する条例案		
	協議第5号	大館市立比内中学校外壁耐震対策工事(第1期)の請負契約の変更について		
	協議第6号	令和7年度大館市一般会計補正予算(第12号)案		
	協議第7号	令和7年度大館市奨学資金特別会計補正予算(第1号)案		
	協議第8号	令和8年度大館市一般会計予算案		
	協議第9号	令和8年度大館市奨学資金特別会計予算案		
10	その他			
	(口頭)	大雪による教育施設の被害状況(2月19日現在)		
	(口頭)	未来おおだてを創造する学校教育環境の適正化について 提言書(案)		
	(口頭)	沖縄県嘉手納町との学習体験交流事業に係る覚書の調印について		
	次回	3月18日(水)	本庁舎5階	第4委員会室

教育長が教育委員会に報告する事項

令和8年2月20日

担当課（学校教育課）

報 告 事 項	報 告 内 容
<p>未来おおだてサミット事業について（交流推進課事業）</p>	<p>1月7日から9日までの3日間、市内の中学生9名が国内最先端の技術を有する施設を巡り、専門的な知識と先進的な取り組みが行われている現場を実際に見学するという貴重な経験をしました。</p> <p>ANA機体整備場、大館市と縁がある三菱重工ロケット・ロケットエンジン組み立て工場に加え、東京商工会議所及び東急株式会社の協力の下、渋谷駅周辺を見学しました。生徒たちは熱心に耳を傾け、積極的に質問をするなど充実した時間を過ごすことができました。渋谷では東急株式会社が進める「100年に1度」と言われる駅周辺の都市開発について、地域課題の解決とともに新しい物を「生み出す」「創り出す」といった視点を持った大規模な開発プロジェクトを学ぶことができました。</p> <p>【参加者】 学校教育課長補佐、中学2年生9名、引率教諭1名、交流推進課職員2名 計13名</p> <div data-bbox="651 1099 1305 1503" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">三菱重工業 飛島工場</p> <div data-bbox="651 1576 1305 2033" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">渋谷駅前 スクラブル交差点</p>

私の考える「未来おおだて」について

令和7年度（2026.2.2）～未来おおだてサミット成果発表～

- 1 ・【日本の最先端技術を支えながら伝統的な文化を受け継いでいく街】
自分は米作りや曲げわっぱなど元からある大館の強みを未来につなぎながら、ロケット産業や航空機、I C T など新しい強みをつくるために大館に会社を誘致してもらい、自分も社会人として関わりたい。そのためにも大館についてもっと知れるように頑張っていこうと思います。
- 2 ・このサミットを通して、都市部では急速に技術の発展や開発が行われていることが分かりました。その一方で、地方では少子高齢化や過疎化が進み、都市部と大きな差があることも明らかになりました。正直に言って、私はこの先、大館が都市のように発展するのは難しいと考えます。しかし、発展までいかなくとも、存続という方法なら可能だと思います。大館の良さや特色、歴史が失われないように、これらを生かしつつ、時代に応じて変化し、進んでいくことが大事だと思います。また、大館を10年後、そしてその先まで残していくためには、私たちがこの先の未来について真剣に考えていくことが大切です。この先、大館のために私たちは何ができるのでしょうか？私はこのことについてしっかり向き合っていきたいと思っています。
- 3 ・SNSで情報を発信し、多くの人が大館のよさに触れる場面を増やしたい。また、大館を地元とする人たちが離れた場所でも大館を思い出せるような取組がほしい。そして、職業を自由に選べる町になってほしい。地元に残るだけでなく、離れた場所でも大館に恩返しできる方法を見つけていきたい。
- 4 ・今の大館に大事なことは、大館の取組を広めること。
大館にはロケット燃料燃焼試験場があり、渋谷とも大きな関りがある。だから、「みんな」を大切にして、一つのことに力を合わせれば大館の医療、観光、住宅が充実したり、活性化したりすると感じました。
- 5 ・多摩田園都市での「次世代郊外まちづくり」から、大館も I C T を活用した住民参加型のコミュニティを形成する。
- 6 ・10年後の大館は技術発展の中心地で、大切な伝統が受け継がれている街であることを目指したいです。しかし実際は、少子高齢化や人口減少といった問題が残ると思います。これらの解決のため、僕は一度地元を離れ、県外で広い視野と最先端の知見を学びます。大館にはエンジン試験場や医療産業などの強みがあるため、将来は外の世界で培った経験と技術力を融合させ、この街の可能性を最大限に引き出して未来を切り拓きたいです。
- 7 ・日本を支える技術や開発を実際に見て、大館出身である方々のお話を聞く中で、全国に展開している店舗を増やすのではなく、地域の食材を生かした大館にしか得ることのできない体験や魅力を増やすことが大切だと感じた。そのため、今あるシャッター街や趣のあるお店などを大切にして、地域を活気づける行事を開催したり良さを伸ばしたりして欠点を補えるような事業があるとよいと思いました。また、ほかの地域で働いたり大館を離れて経験を積む人たちが自分たちの能力を発揮したり、福利厚生がしっかりした場を今より設ける必要があると思いました。
- 8 ・人、情報行き交う街
三菱 人工衛星 ⇒ 人工衛星による通信環境の改善 → 孤立集落の現状打破、孤独死の防止
東急 再開発 ⇒ 渋谷に来る人口を変えた → 大館も変えられる
ANA 高速な移動 ⇒ 都心からの往来 → 気軽に行ける・旅が可能
キャッチコピーとして「つながる、にぎわう、旅する 大館」
- 9 ・外国人や観光客にイベントに参加してもらうことで、大館の良さを知ってもらうとともに、また「来てほしい」と思える内容をPRする。
例えば、①自然が感じられる場所をつくる。②YouTubeやSNSなどで、大館の魅力を動画で発信する。③地域の強みを高める。（秋田犬、比内地鶏、とんぶり、曲げわっぱなど）
・幅広い世代に適した、居心地の良い街づくりに取り組む。①渋谷のように市役所が色々な企業と連携し、再開発に取り組む。
・若者が大館市から流出しているので、働ける職場を大館市につくる。（若者が働きたいと思う仕事がないから）
例えば、①企業と連携し、情報発信を強化する。②起業に挑戦する人を増やし、地域に新しい風を呼び込む。

教育長が教育委員会に報告する事項

令和8年2月20日

担当課(教育研究所)

報告事項	報告内容																																																																																																	
令和7年度秋田県学習状況調査の結果について	<p>1. 開催期日</p> <p>(1) 令和7年12月3日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年 国語、算数、理科(各30分) ・小学校5年 国語、算数、社会、理科(各40分) <p>(2) 令和7年12月4日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校1年 国語、数学、社会、理科、英語 ・中学校2年 国語、数学、社会、理科、英語 <p>(国語50分、その他の教科45分)</p> <p>※学習の意欲等に関する調査(10分)</p> <p>2. 調査結果(教科)平均通過率</p> <p>※別紙参照(今年度から小6なし)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">小学校4年</th> <th colspan="4">小学校5年</th> </tr> <tr> <th>国語</th> <th>算数</th> <th>理科</th> <th>国語</th> <th>社会</th> <th>算数</th> <th>理科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市</td> <td>77.3</td> <td>67.6</td> <td>76.8</td> <td>74.6</td> <td>69.1</td> <td>61.2</td> <td>68.4</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>78.3</td> <td>66.1</td> <td>71.5</td> <td>76.5</td> <td>68.7</td> <td>61.8</td> <td>65.9</td> </tr> <tr> <td>市一県</td> <td>▲1.0</td> <td>1.5</td> <td>5.3</td> <td>▲1.9</td> <td>0.4</td> <td>▲0.6</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">中学校1年</th> </tr> <tr> <th>国語</th> <th>社会</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>英語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市</td> <td>68.3</td> <td>62.6</td> <td>54.7</td> <td>60.6</td> <td>66.9</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>68.6</td> <td>62.4</td> <td>55.2</td> <td>58.8</td> <td>65.6</td> </tr> <tr> <td>市一県</td> <td>▲0.3</td> <td>0.2</td> <td>▲0.5</td> <td>1.8</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">中学校2年</th> </tr> <tr> <th>国語</th> <th>社会</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>英語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市</td> <td>66.7</td> <td>60.2</td> <td>53.7</td> <td>58.2</td> <td>63.5</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>66.4</td> <td>57.4</td> <td>54.1</td> <td>56.0</td> <td>62.1</td> </tr> <tr> <td>市一県</td> <td>0.3</td> <td>2.8</td> <td>▲0.4</td> <td>2.2</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※県、国を上回っている教科</p> <p>小・中学校ともに社会・理科、中学校英語、小学4年算数、中学2年国語 [おおむね良好な状況である]</p> <p>3. 学習の意欲等に関する調査(別紙参照)</p> <p>学習習慣や学校生活についての意識、各教科等の学習に対する意識は、県を100とした場合、大館市の指数は高い。</p> <p>一方で、ICTの使用頻度は高いが、ICT機器を活用して情報収集や整理をすること及び読書についての意識は、小・中いずれも課題がある。</p>		小学校4年			小学校5年				国語	算数	理科	国語	社会	算数	理科	市	77.3	67.6	76.8	74.6	69.1	61.2	68.4	県	78.3	66.1	71.5	76.5	68.7	61.8	65.9	市一県	▲1.0	1.5	5.3	▲1.9	0.4	▲0.6	2.5		中学校1年					国語	社会	数学	理科	英語	市	68.3	62.6	54.7	60.6	66.9	県	68.6	62.4	55.2	58.8	65.6	市一県	▲0.3	0.2	▲0.5	1.8	1.3		中学校2年					国語	社会	数学	理科	英語	市	66.7	60.2	53.7	58.2	63.5	県	66.4	57.4	54.1	56.0	62.1	市一県	0.3	2.8	▲0.4	2.2	1.4
	小学校4年			小学校5年																																																																																														
	国語	算数	理科	国語	社会	算数	理科																																																																																											
市	77.3	67.6	76.8	74.6	69.1	61.2	68.4																																																																																											
県	78.3	66.1	71.5	76.5	68.7	61.8	65.9																																																																																											
市一県	▲1.0	1.5	5.3	▲1.9	0.4	▲0.6	2.5																																																																																											
	中学校1年																																																																																																	
	国語	社会	数学	理科	英語																																																																																													
市	68.3	62.6	54.7	60.6	66.9																																																																																													
県	68.6	62.4	55.2	58.8	65.6																																																																																													
市一県	▲0.3	0.2	▲0.5	1.8	1.3																																																																																													
	中学校2年																																																																																																	
	国語	社会	数学	理科	英語																																																																																													
市	66.7	60.2	53.7	58.2	63.5																																																																																													
県	66.4	57.4	54.1	56.0	62.1																																																																																													
市一県	0.3	2.8	▲0.4	2.2	1.4																																																																																													

教育長が教育委員会に報告する事項

令和8年2月20日

担当課（教育研究所）

報告事項	報告内容
<p>大館市教育委員会の表彰について</p>	<p>大館市教育委員会表彰規則に基づき、教育の振興発展等に貢献し、その功績が顕著である者に対して次のとおり表彰することになりました。</p> <p>【授業マイスター】 2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本城谷美香子（桂城小）、水澤真珠子（田代中） <p>【チャレンジ授業賞】 3校4名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲谷安揚（矢立小）4～6年 算数 「ICTを活用した交流授業」 ・森川夏子、谷本玉緒（長木小）5年 外国語 「Unit7 『Welcome to Odate!』 ～新しいALTの先生に長木や大館の魅力を伝え隊～」 ・野呂史織（東中）2年 道徳 「自分らしさを見つめて」 <p>【ふるさと授業賞】 3校11名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤麗王、今野晴香、畠沢実香子、花田一雅、東海林賢子（花岡小）全校 生活科・総合的な学習の時間 「花岡ピカキラ鳥潟会館ツアー」 ・山口智子、佐藤啓子、高橋みなみ、本多千晶（扇田小、西館小、東館小、比内中 養護教諭）保育園年長児・小中全学年 比内地区合同学校保健委員会 学級活動、保健指導、委員会活動 「地域で考える比内っ子の健康生活」 ・小林美紀子、佐藤俊太郎（上川沿小）6年 総合的な学習の時間 「上川沿とびつきりプロジェクト ～地域に笑顔と元気を届けよう～」 <p>【未来大館市民賞】 1校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>田代中 生徒会執行部を中心に「ボランティアで稲刈り」</u> 長雨で田んぼに機械が入れず、クマの出没も重なって収穫を断念しかけた農家から相談を受け、生徒たちが力になろうと立ち上がった。 <p>【子どもハローワーク奨励賞】 3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂城小5年 櫻田葵 35回（体験場所25カ所） ・桂城小6年 安達司 19回（体験場所15カ所） ・北陽中1年 佐々木果音 14回（体験場所11カ所） <p>【子どもハローワーク特別賞】 1校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東館小（全46回） <p>※表彰式は、2月27日（金）午後4時30分から中央公民館で行います。</p>

教育長が教育委員会に報告する事項

令和8年2月20日

担当課（教育研究所）

報告事項	報告内容
<p>子どもサミット釜石交流事業について</p>	<p>2月13日と14日の2日間、大館市子どもサミットを代表する小中学生11名が岩手県釜石市を訪問し、釜石市の小中学生で組織する「かまいし絆会議」の代表28名と交流しました。</p> <p>1 交流会 『地域をよりよくするために何ができるか』をテーマに、互いに各校が取り組んでいる活動の紹介や意見交換をしたほか、防災の取り組みについても話し合いました。</p> <p>2 『いのちをつなぐ未来館』の訪問 震災の伝承と防災学習を推進する施設を訪問し、震災を体験した語り部の方の講話を聞きました。そして東日本大震災が起こったときに、当時の小中学生が津波から逃れた避難路約1.6キロメートルを歩く追体験も実施しました。 本事業を通じて、改めて命の大切さや防災に対する意識が高まり、将来の大館のために「今から、自分たちができること、やらなければならないこと」を学ぶ貴重な機会となりました。</p> <p>3 参加者 小学5年生3名、中学2年生8名、引率教諭3名、事務局1名 計15名</p>



交流会での発表



津波避難路の追体験

議 事 の 経 過	
	開会 午後3時30分
教育長	<p>ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と工藤委員にお願いします。</p> <p>会議録についていかがだったでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項の説明をお願いします。</p>
各課長	<p>(「(1) 未来おおだてサミット事業について (交流推進課事業)」 「(2) 令和7年度秋田県学習状況調査の結果について」 「(3) 大館市教育委員会の表彰について」 「(4) 子どもサミット釜石交流事業について」 を、資料により報告)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問等はございますか。</p>
委員	<p>学校教育課からご報告のありました未来おおだてサミット事業についてですが、毎年このような機会を子どもたちに与えていただけることは本当にありがたいと思います。私の息子と仲の良い友達に参加していて感想を聞いたところ、やはり実際に参加することで普段と違う大人たちと接する機会を得られたのは、非常にためになったと話していました。また、成果発表についても、皆それぞれ頼もしいと感じて読ませていただきました。</p> <p>それから、子どもサミット釜石交流事業については私の息子も参加させていただきました。まだあまり詳しく話を聞いていないのですが、やはり聞くのと体験するのは全く違って、いくら事前に知識を付けても、実際にその場に行って感じることは非常にためになるということ、以前に参加した姉と話して大変盛り上がっていました。お互いの経験と記憶で話が弾んでいるのを見て、親として本当に嬉しく思いました。</p> <p>この事業は子どもたちに非常にいい機会を提供できる事業だと思いますので、今後も是非継続していただけるようよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>「私の考える未来おおだてについて」という成果発表を読ませていただいて、未来大館市民がこんなにたくさんいるのだとを改めて実感しました。</p> <p>特に上から6番目の「僕は一度地元を離れ、県外で広い視野と最先端の知見を学びます」というのは正直な気持ちなのかなという気がします。さらに、続けて「将来は外の世界で培った経験と技術力を融合させ、この街の可能性を最大限に引き出して未来を切り拓きたいです」と力強く書かれていました。もしかするとこれが本音なのかもしれません。</p>

<p>教育長</p>	<p>地元に残ることも大事ですが、外の世界へ出て培った経験や技術などをここでまた再度開花させるというのも立派な地域貢献だと思いますし、そういった子どもたちが増えてきているということは、ふるさとキャリア教育が果たした役割が大きかったと感じていますので、これからもこういう考えを持つ子どもたちを大切にしていきたいです。</p> <p>子どもたちがふるさとを支えたいと考えたときに、その支え方については様々だと思います。それが当たり前の話なので、それぞれが自分のできることを考えていくことが大事なのだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ご報告のありました未来おおだてサミット事業や子どもサミット釜石交流事業、そして今後報告されると思われ海外研修など、子どもたちの様々な体験活動を支援してくださることに本当に感謝しています。やはりいろいろな体験や経験を通して人は形作られていくのだと思いますので、未来の大館市民になる子どもたちへの投資を今後もよろしく願いいたします。</p> <p>それから、今年の1月は大雪により本当に雪かきで苦労した1か月で、改めて感じたのが、果たして10年後の自分たちにはできるのだろうかということです。先ほど釜石交流のご報告の中で防災に対する意識のお話がありましたが、子どもたちがそういう意味で雪かきだけではなく、地域の防災に関する核になってくれたらと思いました。本当に地域に若い人がいなくて難儀をした1か月でしたので、痛切に感じたところです。津波や地震などに限らず、様々な地域の課題について子どもたちが考えてくれたらと思いました。</p>
<p>教育長</p>	<p>実際に部活単位でボランティア活動を行っている学校や、学校全体で雪かきボランティアなどを行っている学校もあるのですが、以前教育現場にいたときに、雪かきのお手伝いをしようとしたところ、町内によっては子どもに行わせるのは怖いという判断をするケースもありましたので、その地域の大人たちが子どもたちをどう捉え、どう活かしていくかということも関係しているのだと思います。皆それぞれ思いがあって過ごしているでしょうから、これからもう少し増えていけばいいなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>確かにそうですね。実際に安全のことを考慮すると大変なのですが、子どもたち自身が、こんなふうに関心を持って地域の大人们が難儀しているとか、苦労しているとか、大変だと思っていることを分かってくれるだけでも違ってくるのではないかと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>雪国に住んでいる以上、雪かきをしなければ生きていけませんからね。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p>それでは議事の方に移りたいと思います。今回議事は全部で7件ありますが、大きく3つの項目に分かれていますので、3つに区切ってそれぞれ説明と協議を行いたいと思います。</p>

各課長	<p>では、はじめに協議第3号から第5号までの説明をお願いします。</p> <p>(「協議第3号 令和7年度大館市一般会計補正予算(第11号)の専決処分について」 「協議第4号 大館市民文化会館に関する条例の一部を改正する条例案」 「協議第5号 大館市立比内中学校外壁耐震対策工事(第1期)の請負契約の変更について」 を、資料により説明)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問等がございますか。 よろしいようですので、次に協議第6号及び第7号について説明をお願いします。</p>
各課長	<p>(「協議第6号 令和7年度大館市一般会計補正予算(第12号)案」 「協議第7号 令和7年度大館市奨学資金特別会計補正予算(第1号)案」 を、資料により説明)</p>
教育長	<p>3月補正予算についての説明でしたが、皆さまから何かございますか。</p>
委員	<p>歴史文化課にお伺いします。文化費の松くい虫防除対象木減による減額についてですが、この対象木は場所としてはどこになるのでしょうか。</p>
歴史文化課長	<p>対象木の場所は芝谷地となっております。</p>
委員	<p>芝谷地ですね。分かりました。</p>
教育長	<p>ほかにごございますか。 よろしいようですので、続いて協議第8号及び第9号の来年度当初予算について説明をお願いします。</p>
教育次長及び各課長	<p>(「協議第8号 令和8年度大館市一般会計予算案」 「協議第9号 令和8年度大館市奨学資金特別会計予算案」 を、資料により説明)</p>
教育長	<p>ただ今の説明について委員の皆さまからご意見、ご質問等ございますか。</p>
委員	<p>前年度比3億8,407万円、14.3パーセント増ということで、皆さま頑張ってこれだけの予算を付けていただいて、まずは感謝を申し上げます。 私からは給食管理費についてお伺いします。小学校給食費負担軽減補助金と学校給食物価高騰対策補助金を合わせて約1億9,000万円とありますが、これによりいわゆる給食無償化ということになるのでしょうか。今お答えできる範囲で教えていただきたいのですが。</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>小学校給食費負担軽減補助金の約1億2,400万というのは、国と県からの交付金として報道で公表されている月額5,200円のことです。この月額というのは、国は年額にすると12か月ではなく夏休みと冬休み期間を除いた11か月分として計算していきまして、給食の回数としては1年間に192回で計算しています。そこから割り返すと1食あたり約298円という金額になります。</p> <p>一方、大館市の給食費の単価は令和7年度当初の小学校で約378円、それに7月に専決処分を行った米と牛乳の値上がり分でプラス約5円、そして1月に専決処分を行った米の値上がり分としてプラス約29円、更に令和8年度以降も物価の高騰分として給食を安定的に運営していくためにある程度プラスが発生することを考慮して試算しますと、440円程度になると思われます。そうしますと約140円の差額が発生しますので、例えば学校で物価高騰対策補助金を入れることでその差を埋められるのであれば無償化となりますが、埋められなければ一部負担が発生します。ですから、今現在の数字を基にして試算すると一部負担が発生せざるを得ないのではと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>分かりやすくご説明いただき理解しました。世の中で給食無償化という言葉が独り歩きしてしまっているのが、様々な誤解が生じる可能性があります。市の現状としてはやはり厳しいということをしかりと説明した上で、保護者からの理解を得ていただきたいと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>補足しますが、保護者負担が発生する場合は学校側も給食費を集めなければいけませんから、3月議会終了後にある程度金額が決まった時点で、支障が出ないようなスケジュールで数字や説明について文書で周知をするようにいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>この件に関しましては、国も当初は無償化という言葉が大々的に掲げていたのですが、いつの間にか無償化という言葉を使わなくなりました。現在は別の表現をしているはずですが。</p>
<p>教育次長</p>	<p>抜本的負担軽減ですね。</p>
<p>教育長</p>	<p>そうです。抜本的負担軽減という事業名に変わりました。</p>
<p>委員</p>	<p>私も含め、無償化という言葉が一度出ると、ずっとそれで覚えてしまって、負担軽減と言われてもピンと来ない方も多いと思いますので、その辺りも踏まえてよろしくお願いします。</p> <p>続けてお伺いしますが、小中学校電子黒板導入事業について、具体的にどの程度の台数をどこに配置するのかお分かりでしたら教えてください。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>現在、各小中学校には令和5年度に導入した90台と、寄贈された2台の</p>

	<p>計92台が配置されておりますが、普通学級の総数からこれを差し引いた台数を購入し、全ての普通学級に行き渡るようにすることを想定して予算を計上しています。実際の購入台数につきましては、まだ入札前ですので単価が上がったりする可能性もありますが、年度当初に速やかに入札を行い、順調に進めば夏休み期間中には各学校への配置が完了できる見込みとなっております。</p>
委員	<p>目標としては普通学級全てに配置すると考えてよろしいでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>そうですね。学校側から普通学級ではなく、これを特別支援教室で使いたいという意見が出る可能性もありますが、台数的には先ほどお話ししたような台数を購入する予定です。</p>
委員	<p>もう1つお伺いします。生成AI教育利用実証事業というのが非常に気になったのですが、具体的にどのような事業なのでしょうか。</p>
教育監	<p>複式学級においては、子どもたちの学びの質を高めるために1人の教諭が行ったり来たりしなければいけない状態です。そこで、アバターティーチャーというわけではないのですが、授業のタイムマネジメント等も含めてAIが子どもたちの学びをある意味主導していくことができないかということで、学習主体はもちろん子どもたちなのですが、そういったAIを企業と開発しながら進めていくという事業です。</p> <p>さらに、個別の子どもたちの学習においてもAIの可能性を探っていくために、学校名は公表できませんが、来年度にまずは特定の学校で実証事業として進めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>良く分かりました。</p>
教育長	<p>ほかにごございますか。</p> <p>ないようですので、その他に移ります。</p>
教育総務課長 及び学校教育 課長	<p>〔大雪による教育施設の被害状況（2月19日現在）〕 「未来おおだてを創造する学校教育環境の適正化について 提言書（案）」を、口頭で報告）</p>
教育長	<p>補足しますが、この提言書は教育委員会が提言するものではなく、学校教育適正化検討委員会が市に対して提言するものです。しかしながら、その進捗を教育委員会事務局が担当している関係上、このように皆さまに案をお示ししているものであります。</p> <p>皆さまから何かご意見、ご質問等ございますか。</p>

委員	<p>スケジュール案の中で統合先の校舎改修工事とありましたが、具体的にどのような改修が必要になると考えていますか。</p>
教育総務課長	<p>統合先となっている学校に関しましては、現時点ではそれほど大きな改修を行う必要はないと考えています。しかしながら、子どもの数が増えることによって、教室の使い方が変わる可能性もあると思われまので、実際の用途に合わせた小規模の改修や、そのほかにも統合という理由で交付対象になる補助金などもありますので、これを機に老朽化した部分も併せて改修するといったことが考えられると思います。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
教育長	<p>現場の管理職の立場からすると、統合を機に今まで使い勝手が悪かった部分について、子どもの数が増えることによってここを直してほしいという要望が出てくることは十分予想されます。例えば扇田小学校のように2クラスが向かい合っている変則的な構造の場合に、間に壁を入れたいというような意見が出てくる可能性もありますので、この予算は必要になるだろうと思います。</p>
委員	<p>良かったです。先ほどお話があったように、統合に伴って交付対象となる補助金があるのであれば、利用するのは非常に良いことだと思いました。</p>
委員	<p>計画どおりに進むと複式学級が解消されるということで、大変望ましいと思っています。非常に丁寧に進められていて、令和12年度、13年度を目指すということですが、次期検討委員会において協議・検討するとされている川口小学校、上川沿小学校、成章小学校、南小学校及び中学校について、特に成章小学校や南小学校はかなり少人数化が進むのではないかと思います。次期検討委員会というのはいつ頃を予定されているのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>委員ご指摘の小学校については、令和13年度には複式学級になる見込みです。ですから、その令和13年度の前に、どういった統合の組み合わせにするのか、義務教育学校だったり、小中一貫校だったり、様々な形があると思いますが、それをまず検討する必要があります。</p> <p>したがって、恐らく次期検討委員会の設置は令和9年度になるのではないかと思います。令和9年度の前半に検討委員会を設置し、ある程度意思共有をしてから、適正計画を更新してパブリックコメントを実施し、そして令和10年度の改修工事設計の予算に間に合わせるといったスケジュールで進められればと考えます。</p>
教育長	<p>まずは児童生徒数の推移を見ながら進めていく必要があると思います。</p> <p>皆さまからほかに何かございますか。</p>

教育監	<p>(「沖縄県嘉手納町との学習体験交流事業に係る覚書の調印について」を、口頭で報告)</p>
教育長	<p>補足として、今回から大館の教員の招へい事業がなくなったのですが、この理由については嘉手納町も予算状況が厳しいということと、10年以上続けている事業ですので、大館の教師の授業スタイルが嘉手納町にも定着してきていて、招へいをせずともその空気感というものに既に十分に伝わっているということもあっての削減措置なのだと思います。</p> <p>今日いらっしゃったお二方の話を聞いても、保護者から大変好評なようでして、もちろんある程度誇張されているとは思いますが、実際に嘉手納町の子どもたちが大館に来て学んで帰った後、勉強の仕方が大きく変わったとのことでした。</p> <p>また、保護者からの要望として、もっと多くの生徒を派遣できるようにしてほしいとか、3年生も参加を希望しているとか、そういった話をたくさんされてきましたので、これまで12年間積み重ねてきた成果が出ているのだと思っています。</p> <p>さて、予定されていた議題については以上で終了いたします。 皆さまからほかに何かございますか。 では、次回の開催日程についてお願いします。</p>
教育総務課長	<p>(「来月の開催日程」について)</p>
教育長	<p>それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
<p style="text-align: center;">会議終了時刻 午後4時50分</p>	